

平成 2 5 年 6 月

# 伊東市議会 6 月定例会

## 一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

- 1 土 屋 進 君
- 2 長 沢 正 君
- 3 四 宮 和 彦 君
- 4 佐々木 清 君
- 5 杉 本 一 彦 君
- 6 井 戸 清 司 君
- 7 鳥 居 康 子 君
- 8 鈴 木 克 政 君
- 9 森 篤 君
- 10 重 岡 秀 子 君

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 土 屋 進

1 伊東市民病院が3月1日に開院してから3カ月余が経過したが、駐車場利用料金について、利用状況を検証する中で、見直しする考えはないか伺う。

2 旧伊東市民病院について、耐震化や改修整備等を施し、老朽化が危惧されている伊東市保健福祉センターの移転先として活用すべきであると考えているが、市長の考えを伺う。

3 なぎさ公園は、昭和52年の市制30周年を機に整備され、園内には、多くの美しい彫刻が配置されており、市民や観光客の憩いの場となっている。

本年度においても、新たなモニュメントや園内の案内板などを整備するとしているが、今後、どのように整備し、活用していくのか伺う。

4 いでゆ橋は、昭和42年3月に竣工してから既に46年が経過しており、老朽化が目立ち、伊東市橋梁長寿命化修繕計画に係る対象橋梁とされていることから、早急に対策を講じる必要があると思われる。その際、東海館、旧旅館いな葉などの周辺景観や温泉情緒に配慮したリニューアルへの取り組みもあわせて進めていくべきであると考えているが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

- 1 災害対策基本法の改正に伴う本市の取り組みについて以下3点伺う。
  - (1) 業務遂行、事業継続にどのような対策をしているか。
  - (2) 災害弱者支援策の強化として、特に要援護者の名簿作成の義務化と名簿の取り扱いについて
  - (3) 罹災証明書の速やかな発行のための体制づくりと職員の育成について
- 2 買い物弱者への支援策について伺う。
- 3 市民への道路工事等の周知方法について伺う。
- 4 通学路等の交通安全対策の状況について伺う。
- 5 学校施設における落下防止策について伺う。
- 6 学校給食のアレルギー対策について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

3期目となる市長の今期の施政方針について

- 1 選挙公約において、市長は「学校給食の『親子方式』による食育の充実」を掲げるにとどめ、中学校給食の完全実施については、取り上げていなかったが、当選後に、残り4中学校においても、給食の完全実施を今任期中に実現することを明言された。

過去2期の任期の中で実現できなかった中学校給食完全実施を3期目に明言されたその真意を伺う。また、実現するに当たっては、昨年11月に策定されたばかりの「伊東市学校給食運営計画」を大幅に見直す必要があると思われるが、新たな計画の策定スケジュールほか、具体的な計画についてどのように考えるか伺う。

- 2 「文化の薫り漂うまちづくり事業の積極的推進」を市長は選挙公約の1つに掲げられていたが、その「積極的推進」する事業の内容については、明らかとは言いがたい。

「文化の薫り漂うまちづくり事業」を「積極的推進」というのであれば、今こそ、我々「伊東の『文化力』向上を目指す議員連盟」が昨年10月に提出した7つの政策提言を真摯に受けとめ、その実現に努めるべきと考えるが、いかがか。

- 3 伊豆半島ないし伊東市は現在、映画のロケラッシュと言える状態にあるが、ロケの受け入れ体制が十分に整っているとは言いがたい。映画の情報発信力の大きさを考えるとき、観光都市伊東にとって、映画のロケ地として選ばれることは、観光誘客宣伝上、多くの利益をもたらすと考える。また、映画によって新たに伊東市のストーリーが創造されることによるイメージアップ効果は、まさに市長の言う「観光都市から感動都市へ」のビジョンにかなうものと思われるが、「観光都市から感動都市へ」を具体的にどのような事業に落とし込むことを考えているか。さらに、映像コンテンツの利活用にかかわるメディア戦略をいかに考えるか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐々木 清

- 1 来年夏、「第2回按針サミット」を開催するに当たり、準備日程や実施内容等について伺う。
  
- 2 医療・介護が新成長戦略として脚光を浴びているが、本市の対応について以下4点伺う。
  - (1) 看護学校の誘致に対する期待の声が寄せられているが、いかがか。
  
  - (2) 新市民病院開院に伴う医観連携システムの見通しについて
  
  - (3) 高齢者支援施設の整備について
  
  - (4) 地域包括支援センターを市街地へ設置することについて
  
- 3 大規模地震に係る被害想定が更新される中で、安心と安全の観点から、玖須美保育園の移設についてどのように考えるか伺う。
  
- 4 市内の公立学校における行事の日程調整について伺う。
  
- 5 少子化が見込まれる中で、学区の見直しや統廃合の考えについて伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

### 1 5月19日に執行された伊東市長選挙について

(1) 55.06%という投票率をどのように分析しているか。

(2) 選挙結果をどう分析し、どのように市政に反映していくか、市長の見解を伺う。

### 2 急激な人口減少や市税額の減少傾向等を踏まえた今後の市政運営について

(1) 本市の将来に向けた下水道事業について

ア 下水道事業における起債の償還計画について伺う。

イ 下水道事業における現在の運営状況と、将来のあり方について市長の考えを伺う。

(2) 本市の児童・生徒数の減少を見据えた小・中学校の統廃合と学校給食の見通しについて

ア 小・中学校給食の体制は、将来の小・中学校の統廃合等も考える中で計画すべき  
と考えるが、市長の考えを伺う。

イ 小・中学校の統廃合と学区の編成等について、どのように考え、どのような計画  
があるか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

1 市内経済を循環型にするために、入札や見積もり合わせなどの制度を改正すべきである  
と考えるが、いかがか。

2 今後も増加することが見込まれている介護保険料を抑えるためにも、「サービス付き高  
齢者向け住宅」などに対する本市独自の補助制度を創設することが望ましいと考えるが、  
いかがか。

3 宇佐美の公有地（宇佐美臨海テニス場跡地と宇佐美留田浜辺公園）の有効利用につい  
て伺う。



## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 再選を果たされた佃市長の今後4年間における市政運営に対する抱負と考えを伺う。
  
- 2 観光戦略について、市長は今後伊豆半島ジオパーク構想を核に進めていかれると考えるが、展望を伺う。
  
- 3 中学校給食実施に向けた具体策について伺う。
  
- 4 子育て支援、高齢者福祉に係る拠点施設の整備に関し、以下2点伺う。
  - (1) 母子保健及び老人福祉の観点から、保健福祉センターの役割が極めて重要であると認識しているが、今後の整備に係る考えを伺う。
  
  - (2) 介護予防の観点から、各地域ごとに高齢者のよりどころとなる拠点の整備が必要と考えるが、いかがか。
  
- 5 市民の健康増進への取り組みについて、以下2点伺う。
  - (1) 市民病院を核とした地域医療の確立のため、健診センターを活用しているが、その具体策について伺う。
  
  - (2) がん検診の受診率向上に向けた取り組みがされている中で、胃がん検診について、従来のバリウム検査から血液検査によるリスク判定に切りかえている地域があるが、本市の状況を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 克 政

- 1 佃市長3期目は、市民と力を合わせた「まちづくり」に取り組むとしているが、市民からの意見聴取をいかなる方法で行うのか伺う。
  
- 2 3月27日付、伊東市消防団団長名で消防長から四宮和彦議員へ届けられた「市議会3月定例会における発言について（照会）」の内容は、地方自治法及び会議規則に基づき運営される市議会において、市民の信託を受けた議員の言論は十分に保障され尊重されるとする「発言自由の原則」に抵触するものと思われるが、市長の見解を伺う。
  
- 3 総務省消防庁のホームページには、平成22年度における地方交付税算入額として、消防団員の出動手当について、1回当たり7,000円と掲載されている。一方、本市においては、1回当たり2,300円の支給であり大きな開きがあるが、このことについて、市長の見解を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 森 篤

- 1 市長選挙の選挙公報に記載された「職員の意識改革による、より質の高い行政サービスの確立」に関して、今後向かうべき意識改革の方向性及び質の高い行政サービスとはどういうことをいうのか伺う。
  
- 2 平成24年6月から平成25年6月までの間、市長公室課においては、平成24年6月に購入した「庁用自動車」を従前から所管している自動車と合わせて実質2台を運用している。「庁用自動車」が庁内で共用する自動車であることから、従前から使用している自動車のリース期間が切れる平成25年6月を待って、新たに市長公室課所管の自動車を調達すべきだったのではないかと考えるが、いかがか。
  
- 3 子供たちの教育の淵源の一つは幼児教育にあり、子供たちの一層健全な育成のためには幼児教育をなお一層充実させるべきと考えるが、いかがか。また、保育園、幼稚園の運営にとどまらず総合的な幼児教育の柱となる本市の基本方針を定めるべきと考えるが、いかがか。
  
- 4 平成24年6月議会で、伊東市文化財保護条例の見直しをする旨の答弁があったが、その後1年を経過する中で同条例の見直しは怎么样了か質す。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 佃市政3期目の方針である「未来協知」とは何か、また、その実現のための具体的な方策を伺う。
  
- 2 伊東創造大賞で提案された「ファミリーサポートセンター事業」は、どのような計画で実施していくのか伺う。
  
- 3 学校給食の調理業務等を委託する民間業者をどのような方法で、どのような観点から選考するのか。  
また、親子方式や民間への業務委託に移行するに当たっての課題について伺う。
  
- 4 開院から3カ月が経過した伊東市民病院の状況と、さらに市民に信頼され、市民が利用しやすい病院にしていくための方策について伺う。
  
- 5 体の不自由な方に配慮した投票所のバリアフリー化が必要であると考えますが、いかがか。